

学位被授与者氏名	谷川 郁代 (たにかわ ふみよ)
論文題目	「障害児の母親のアイデンティティ形成過程」
論文審査結果の要旨	<p>障害をもつ子どもと母親の関係性に関して、これまでの先行研究では障害受容過程の観点で論じられることが多く、母親が子どもの障害ならびに子ども自身をどのように受容するのかに関する主題が主に検討されてきた。一方、子どもと対置する母親自身がどのような自己意識をもつのかについてはほとんど等閑視されてきたというのが現状である。こうした問題意識から、障害をもつ子どもの母親がどのような自己意識をもつのかについてアイデンティティの観点から検討することを目的とした本論文の着眼点は、きわめて独創的である。</p> <p>また、母親アイデンティティの形成において、障害をもつ子どもを肯定的に捉え直すことが契機となっているとする知見は、これまでの障害受容研究を更に推進する学術的価値だけでなく、障害をもつ子どもとその家族の子育て支援にとって重要な示唆を提供する実践的価値をも有している。以上のことから、本論文は修士論文としての要件を十分に満たしていると言える。</p> <p>平成27年3月3日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-301教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>